

# 1級建築士R7学科対策【Ⅰ計画 1.設計手法】2025年1月5日

表1 Ⅰ計画の項目別一覧表(平成17年～令和6年)

NO	項目分類	年度																		出題数 (個)	出題確率 (%)			
		H17 (問目)	H18 (問目)	H19 (問目)	H20 (問目)	H21 (問目)	H22 (問目)	H23 (問目)	H24 (問目)	H25 (問目)	H26 (問目)	H27 (問目)	H28 (問目)	H29 (問目)	H30 (問目)	R1 (問目)	R2 (問目)	R3 (問目)	R4 (問目)			R5 (問目)	R6 (問目)	
1	設計手法					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	4.4
2	日本建築史	24	25	24		3	2	3				3	2	2	2	2	2	2	3		2	2	17	4.7
3	西洋建築史	25		25	24	2	2	2	2	2			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	16	4.4
4	周辺環境											5.6	5.6	5			5.6	6					15	4.1
5	各部寸法	14,15	14,15	14,15	13,14	5,6,7	6,7	4,6,7	4,6,7	4,6,7	5,6,7,8	4,7,8	4,7,8	6,7	4,7	5,8	4,5,6,8	4,5,6,8	4,5,6,8	4,5,6,8	4,5,8		56	15.4
6	バリアフリー	16	13	16	15	8	8	8	8	8	8	9	9	9	8,9	12	9	9	9	9	9	9	21	5.8
7	都市計画作品					2	10	9	5	9	3	10	10	4,10	11	11							15	4.1
8	都市計画論																						22	6.0
9	住宅-集合住宅施設	9,10	10	9																			4,9	4.9
10	住宅-集合住宅作品																						6,0	6.0
11	事務所-商業施設	11																					4,9	4.9
12	公共施設	12																					29	8.0
13	病院-高齢者施設	13																			16	16	16	4.4
14	その他作品	12	13			17		16		14					15	14,15	14,15,17	17				15	4.1	
15	計画各論総合	16,17	17	16	16	4,17	17	17	16,17	17			17					7	7,14	7	6,7		19	5.2
16	施工管理					18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	16	4.4
17	建築構造					19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	16	4.4
18	マネジメント			25	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	20	17	4.7
	合計問数	11	11	11	11	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	364	100

注1) 項目分類は同種問題の名称を示す。H(平成)R(令和)は出題年度を示す。表内数値(1~20)は問題番号を示す。

建築資格研究会: [www.kenchiku-shikaku.net](http://www.kenchiku-shikaku.net)

このユーチューブは、見るだけで、今年の学科試験に合格できたといって頂けるように全力を尽くします。

ここでは、学科Ⅰ、計画の項目1、設計手法の解説です。

設計手法は、毎年、1問目に1問として出題されています。

## 地球環境・建築憲章

**地球環境・建築憲章**は、2000年に建築5団体により制定された持続可能な循環型社会の21世紀の目標である。

長寿命	建築は世代を超えて使い続けられる価値ある社会資産となるように、企画・計画・設計・建築・運用・維持される。
自然共生	建築は自然環境と調和し、多様な生物と共存を図りながら、良好な社会環境の構成要素として形成される。
省エネルギー	建築の生涯のエネルギー消費は最小限に留められ、自然エネルギーや未利用エネルギーは最大限に活用される。
省資源・循環	建築は可能な限り環境負荷の小さい、また再利用・再生が可能な資源・材料に基づいて構成され、建築の生涯の資源消費は最小限に留められる。
継承	建築は多様な地域の風土・歴史を尊重しつつ、新しい文化として創造され、良好な成育環境として次世代に継承される。

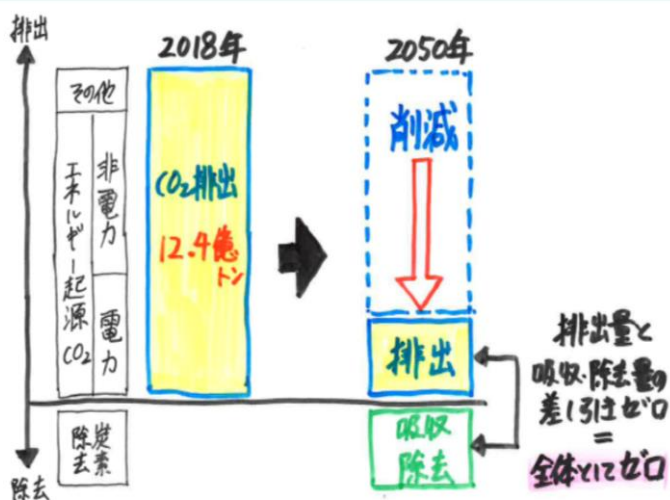
**【問題例】** 建築5団体の制定された持続可能な循環型社会の21世紀の目標は、**長寿命、自然共生、省エネルギー、省資源・循環、継承**に取り組むことを宣言している。

地球環境・建築憲章について説明します。

地球環境・建築憲章は、2000年に建築5団体により制定された持続可能な循環型社会の21世紀の目標であり、長寿命、自然共生、省エネルギー、省資源・循環、継承に取り組むことを宣言している。

## 2050年カーボンニュートラル宣言

我が国は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体として**ゼロ**にする、すなわち**2050年カーボンニュートラル**、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。



**【問題例】** 我が国において2050年までのカーボンニュートラルの実現のために、建築物においては、省エネルギー性能の確保や向上への取り組み、また再生可能エネルギーの導入拡大等が求められている。

2050年カーボンニュートラル宣言について説明します。

我が国は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

この問題は、以下のようなものが出題されています。

我が国において2050年までのカーボンニュートラルの実現のために、建築物においては、省エネルギー性能の確保や向上への取り組み、また再生可能エネルギーの導入拡大等が求められている。

## SDGs ( Sustainable Development Goals )

**SDGs**は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標(17ゴールで構成)である。



**【問題例】**SDGsは、誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の17の開発目標からなり、その目標の一つに持続可能な都市がある。

SDGsについて説明します。

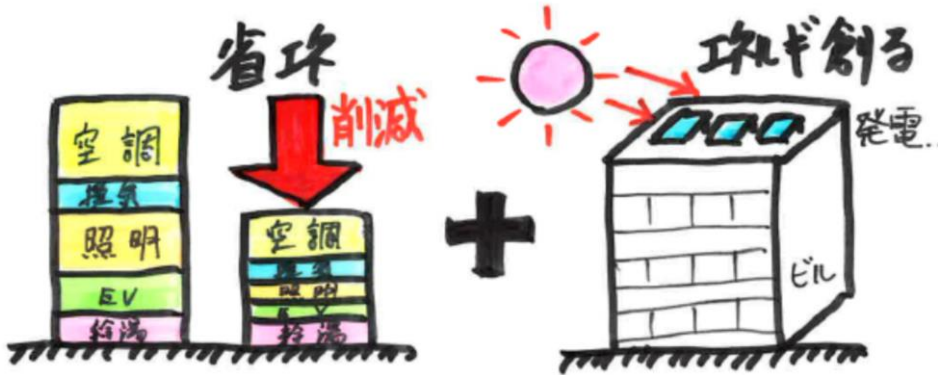
SDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標があり、17ゴールで構成されています。

この問題は、以下のようなものが出題されています。

SDGsは、誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す、世界共通の17の開発目標からなり、その目標の一つに持続可能な都市がある。

## ZEB (Zero Energy Building)

**ZEB**は、省エネと創造エネにより、建物の年間エネルギー収支が**ゼロ**になることである。



**【問題例】** ZEBは、建築物において省エネ性能を向上させることや、その場でエネルギーを創るなどにより、建物の年間一次エネルギー消費量が、実質ゼロとなることである。

ZEBについて説明します。

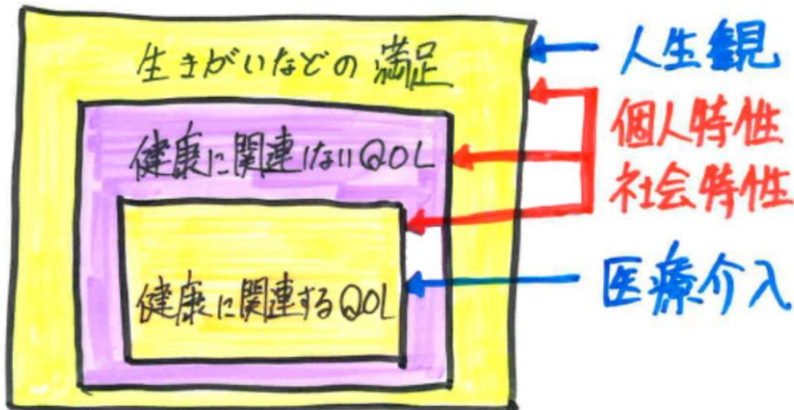
ZEBは、省エネと創造エネにより、建物の年間エネルギー収支がゼロになることです。

この問題は、以下のようなものが出題されています。

ZEBは、建築物において省エネ性能を向上させることや、その場でエネルギーを創るなどにより、建物の年間一次エネルギー消費量が、実質ゼロとなることである。

## QOL (Quality of Life)

QOLは、「**人生の質**」や「**生活の質**」のことである。



**【問題例】** QOLは、生活の質的向上を目指そうとする機運の高まりとともに、建築計画においても、医療福祉等の分野で重要性が増している。

QOLについて説明します。

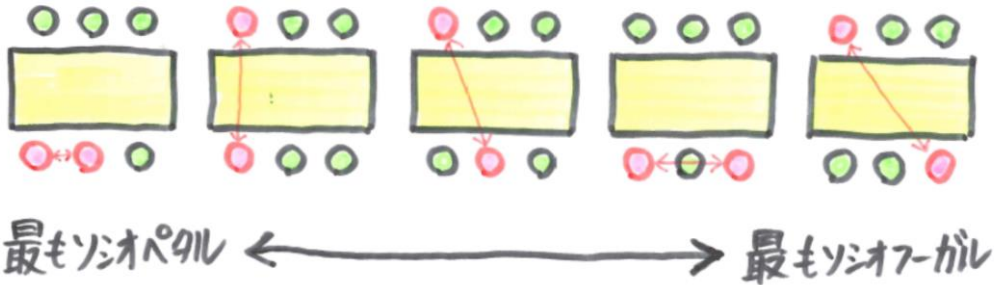
QOLは、「人生の質」や「生活の質」のことです。

この問題は、以下のようなものが出題されています。

QOLは、生活の質的向上を目指そうとする機運の高まりとともに、建築計画においても、医療福祉等の分野で重要性が増している。

## ソシオペタル・ソシオフーガル

対面配置の中で、2人の人間関係のコミュニケーションを位置づける配置方法に、**ソシオペタル**と**ソシオフーガル**がある。



**【問題例】** 複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けて他人同士でいようとするような位置関係は、ソシオペタルでなく、ソシオフーガルである。

ソシオペタルとソシオフーガルについて説明します。

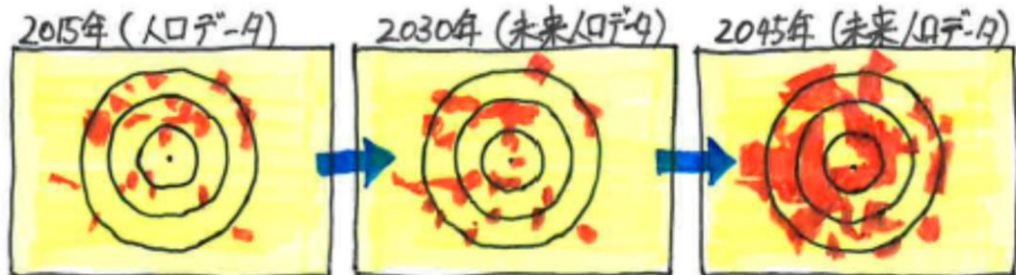
対面配置の中で、2人の人間関係のコミュニケーションを位置づける配置方法に、ソシオペタルとソシオフーガルがあります。

この問題は、以下のようなものが出題されています。

複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けて他人同士でいようとするような位置関係は、ソシオペタルでなく、ソシオフーガルである。

## コーホート要因法

コーホート要因法は、過去の出生人口から将来の人口を予測するものである。



赤色は65歳以上の人口比率が30%以上→未来へ高齢者が増加

**【問題例】**診療所の規模計画において、コーホート要因法を用いて待合室を利用する単位時間当たりの外来患者数を予測し、待合室の床面積を算定したは**間違い**の問題。⇒**正解**は、コーホート要因法は、過去の出生人口から将来の人口を予測するものである。

コーホート要因法について説明します。

コーホート要因法は、過去の出生人口から将来の人口を予測するものです。

この問題は、以下のようなものが、しゅつだいされています。

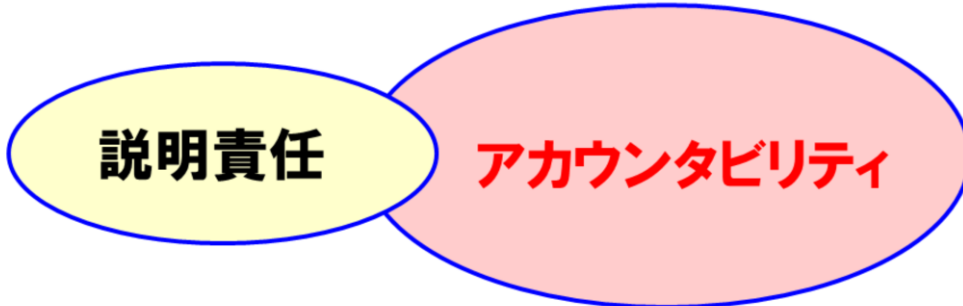
診療所の規模計画において、コーホート要因法を用いて待合室を利用する単位時間当たりの外来患者数を予測し、待合室の床面積を算定したは、間違いの問題である。

正解は、コーホート要因法は、過去の出生人口から将来の人口を予測するものである。



## アカウントビリティ

**アカウントビリティ**は、専門家として説明責任のことである。



**【問題例】** 建築士は、建築に係る専門家として、非専門家との間の知識や情報等の格差を埋める責任があり、アカウントビリティの実践が求められる。

アカウントビリティについて説明します。

アカウントビリティは、専門家として説明責任のことである。

この問題は、以下のようなものが出題されています。

建築士は、建築に係る専門家として、非専門家との間の知識や情報等の格差を埋める責任があり、アカウントビリティの実践が求められる。

その他の出題傾向	
リスクコミュニケーション	プロジェクト達成のリスクを関係者間で共有し意思疎通を図ること
談合	応札者が事前に話し合っ入札価格や入札者を決めること(禁止事項)
公益通報	通報先により内部通報、行政機関への通報、外部通報の三種類がある
コンプライアンス	法令遵守と訳され法令・条例等の遵守に加え企業倫理等の遵守も含む
リスクマネジメント	危機の発生を予防するリスク分析方法でリスク組織を指揮統制する活動
モラルハザード	倫理観の欠如と訳され、企業等が節度なく利益を追求する状態のこと
不遵守行為	個人及び組織を含めて意図的に法令や条例等に従わない行為のこと

その他の出題傾向は、以下の通りです。

リスクコミュニケーションとは、プロジェクト達成のリスクを関係者間で共有し意思疎通を図ること。

談合とは、応札者が事前に話し合っ入札価格や入札者を決めること(禁止事項)。

公益通報とは、通報先により、内部通報、行政機関への通報、外部通報の三つの種類がある。

コンプライアンスとは、法令遵守と訳され、法令・条例等の遵守に加えて企業倫理等の遵守も含む。

リスクマネジメントとは、危機事態の発生を予防するリスク分析方法で、リスク組織を指揮統制する活動。

モラルハザードとは、倫理観の欠如と訳され、企業等が節度なく利益を追求する状態のこと。

不遵守行為とは、個人及び組織を含めて意図的に法令や条例等に従わない行為のこと。

以上で項目1、設計手法の解説を終了しますが、このユーチューブ解説と、ホームページにあるポイント一覧表の音声読上、過去問20年の項目別一覧表を学習すると、確実に設計手法は解答できます。

なお、学科試験は、結局、各項目を1点ずつ正解することで合格となるが、その学習方法は様々です。

このユーチューブが、少しでも、皆様のお役に立てることを願っております。